

NEWS RELEASE

日本初のリアル店舗を開設！ 「台湾エクセレンス ポップアップストア」開幕記者発表会を開催！ ～台湾を代表するブランド 21 社 104 製品が誠品生活日本橋に集結～



左から 牛河 孝之氏(三井不動産株式会社 商業施設本部 アーバン事業部長)
松信 健太郎(株式会社 有隣堂 代表取締役社長)
李 世丙(台北駐日経済文化代表処 副代表)
鄧 之誠 (台湾貿易センター 東京事務所 所長)
下町一朗氏(三井不動産商業マネジメント株式会社 取締役常務執行役員 アーバン運営本部)

經濟部国際貿易局と台湾貿易センター（TAITRA）は、優れた台湾ブランド製品に贈る賞である「TAIWAN EXCELLENCE(台湾エクセレンス)」を受賞した製品の中から、代表的な台湾ブランド21社104製品を展示販売する「台湾エクセレンス ポップアップストア」（開催期間：2022年8月18日～10月17日、会場：誠品生活日本橋）の開幕を記念した記者発表会を、18日（木）に開催しました。アクティブ、デジタル、クリエイティブ、ヘルシー、4つのライフスタイルを基に計104製品を、誠品生活日本橋で日本初のポップアップストアを開設し展示販売を行います。

展示販売製品は多岐にわたり、expoでは、自転車、パソコン、文房具、カメラ、シャンプーなどを、食品販売ブースである「誠品生活市集」では、電気釜やコーヒーメーカーなどを展示販売いたします。

石複合材を使用した地球にやさしい紙でできたノート「imstone」や、フィルタ交換不要の「ナノ光触媒」技術によって臭いや菌を破壊するポータブル空気清浄機「Luft Cube」等、普段日本ではなかなか手に取ることのできない商品を実際にご購入いただくことができます。

記者発表会では、台湾貿易センター東京事務所所長 鄧之誠（とう・しせい）より、「この度の台湾エクセレンスポップアップストアの開幕は日本と台湾双方の協力の結晶であり、ひとえに皆様のご支援のおかげと感謝しております。」と挨拶を述べ、「台湾エクセレンスの製品は、実際に目で見て、手で触れて、体験することで、より製品の良さを実感頂けます。毎日が楽しくなるような台湾エクセレンスのイノベーション商品が、皆様の生活に変化を生み出し、彩豊かな日々を提供できると信じております。」と本企画開催にあたっての想いを語りました。

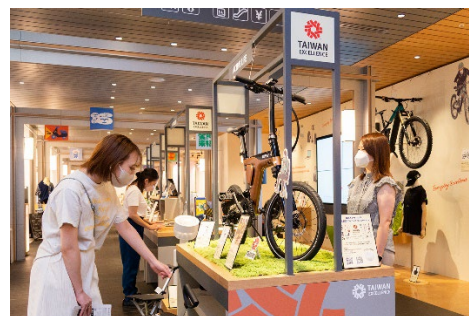
台北駐日経済文化代表処 李世丙（り・せいへい）副代表からは、「あえて、ものづくり大国の日本で展示販売することは勇気がいるチャレンジとなりますが、非常に意義があるイベントになると思います。」と述べ、「今回の展示販売が、東京日本橋から世界へ台湾製品を発信する絶好のチャンスになると思います。台湾ブランドの知名度をさらに高められるよう、心より期待申し上げます。」と台湾産業の発展と日本との協業への想いが語られました。



展示製品の説明を受ける李副代表と鄧所長

また、会場の運営を務める株式会社有隣堂 松信健太郎代表取締役社長は、今回のポップアップストアについて、「今回の企画を通して、様々なジャンルの台湾ブランド製品を一人でも多くの方に体験していただくことは、日本と台湾の文化交流の一部になることはもちろん、まだ見えていない新たなご縁が生まれるのではないかと楽しみにしています。」と述べました。

開催初日となる「台湾エクセレンスポップアップストア」エリアは早くから来店者で賑わい、最新の台湾ブランド製品を手にとる姿や、マッサージチェアを体験する様子が見られました。また会期中、アンケートに御協力頂き台湾エクセレンスの公式SNSをフォローすると、台湾エクセレンスの受賞製品が当たるキャンペーンを実施いたします。本イベントを通して、台湾ブランドの技術力や意匠など様々な魅力について知ることができる見どころ満載の内容となっています。



台湾エクセレンスポップアップストアの様子

■ TAIWAN EXCELLENCE（台湾エクセレンス）について：

台湾エクセレンスのシンボルは、世界中のユーザーに素晴らしい価値を届ける最も革新的な台湾の製品に付与されます。このシンボルが付された製品はすべて、研究開発、設計、品質、マーケティング、製造におけるその卓越性に基づいて台湾エクセレンス賞に選出されています。1992年に中華民国經濟部（日本の経済産業省に相当）によって始められた台湾エクセレンスのシンボルは、102カ国で認知されています。また、台湾エクセレンスの展示体感イベントは、毎年世界各国で開催され、各分野で注目を集めています。



〈TAIWAN EXCELLENCE マーク〉

＜公式サイト＞：<https://www.taiwanexcellence.org/jp/award>

■ 中華民国經濟部国際貿易局について：

中華民国經濟部の国際貿易局（BOFT）は外国貿易と経済協力に関連する政策と規定の実施を担っています。1969年1月に設立されたBOFTの役割と位置づけは、変化し続ける世界の経済と貿易環境のニーズを満たすべく定期的に調整されてきました。BOFTは国内外における数々の貿易関連プロモーションプロジェクト・イベントにおいて中華民国対外貿易発展協会（日本での名称は台湾貿易センター、略称TAITRA）を指導し、協力しています。数十年にわたりTAITRAと緊密な連携を保っているBOFTは、ビジネス、貿易および投資に関連する重要な政府プロジェクトを今後も引き続きTAITRAに委託し、あらゆる面から台湾の海外プロモーションを行っていきます。

■台湾貿易センター（TAITRA）について：

台湾貿易センター（TAITRA）は、1970年に台湾の対外貿易推進を目的に、台湾政府と業界団体の支援により設立された日本の日本貿易振興機構（JETRO）に相当する非営利公的貿易振興機構です。台北本部名称は中華民国対外貿易発展協会といい、台湾国内4ヶ所の事務所と世界各地にある約60の海外事務所をネットワークして、台湾企業・メーカーの国際競争力の強化、海外企業のビジネスマッチング、世界市場への進出、外国企業の台湾調達、投資及び技術協力提携などサポートしています。

■会場「誠品生活日本橋」について：

誠品生活日本橋は台湾発の誠品生活が日本初進出したカルチャー体験型店舗です。「くらしと読書のカルチャー・ワンダーランド」をコンセプトに、フロアは書籍ゾーン、文具・雑貨ゾーン、体験型の物販・ワークショップゾーン、そしてレストラン・食物販ゾーンで構成され、台湾ブランドを初めてとしたさまざまな国の商品や、日本の厳選アイテム・フードが揃います。